



22世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

平成26年度

事業報告書

公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

事業報告

公益社団法人として、財源の確保と予算執行の効率化、円滑な組織事業運営を図りながら、22世紀に緑の遺産を贈る「にいがた緑の百年物語県民運動」と「緑の募金運動」を事業の両輪として、新潟県、市町村と連携し、下記に掲げる重点事項を中心に各事業を実施した。

また、平成26年6月開催された第65回全国植樹祭を契機として、「にいがた緑の百年物語」県民運動の一層の推進を図り、子どもから大人まで世代を超えた県民の理解を得ながら県民参加の森づくりを推進した。

重点事項別予算執行状況

(単位：千円)		予算額 (A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
1	組織基盤の確立と地域活動の推進	1,800	1,233	△567	
	○緑の守人(会員)拡充強化	300	119	△181	
	○地域活動の推進	1,500	1,114	△386	

(1) 会費収入及び会員加入状況について

平成26年度会費目標額：13,000千円(平成25年度実績額：12,566千円)
会費実績額：12,538千円(目標達成率：96.4% 前年度比：99.8%)

表1 会費収入及び会員加入状況

平成27年3月31日現在

区分	会費収入			会員数			備考
	計画A	実績B	B-A	計画A	実績B	B-A	
正会員	10,200	9,804	△396	647	615	△32	
賛助会員	2,800	2,734	△66	515	497	△18	
合計	13,000	12,538	△462	1,162	1,112	△50	

(資料1、1-2)

(2) 地域活動の推進

- ・第65回全国植樹祭開催機運を醸成する「未来へつなぐ森づくり—フラッグリレー」を2地域で実施
- ・第65回全国植樹祭併催「未来へつなぐ森の力 緑の守り人 フェスタ」を開催
- ・県内に設置した地域組織の活動強化とその中心的役割を担う地域推進員の活動を支援

(単位：千円)		予算額(A)	決算額 (B)	増減(B-A)	備考
2	県民運動の普及啓発と県民参加の森づくり	13,300	13,837	537	
	○県民運動の普及啓発	6,200	6,392	192	ファンド増
	○緑百年フェスティバル及び植樹祭等の開催	3,600	3,659	59	
	○地域の森づくり	3,500	3,786	286	

(1) 県民運動の普及啓発

会報やイベント情報、ホームページなどによる情報発信力を強化し、県民運動の推進と全国植樹祭啓発活動を実施。

① 情報の発信

- ・会報誌：春号（新会報第5号） 「特集：育てる、楽しむ、未来世代の育成 全国植樹祭記念特集号」
：秋号（ ” 第6号） 「特集：未来へつなぐ森の力」を発刊
- ・イベント情報発行：春期144（154）件、秋期131（130）件掲載 ※（ ）は前年度実績
- ・メディア（新潟日報社企画「地球の守り人」）と連携し、「緑化団体の活動情報の発信」、「県民運動の啓発」、「会員募集活動」を実施
- ・林業情報誌月刊「林業にいがた」の紙面を活用し、県民運動の情報を提供

② 森林セミナーの開催

- ・日時・場所：平成26年6月20日（金）新潟県自治会館講堂
- ・講演：「水源の森と私たちの暮らし」
講師：蔵治光一郎氏（東京大学演習林生態水文学研究所長・大学院農学生命科学研究科准教授）

(2) 緑の百年物語フェスティバル及び植樹祭等の支援

① 第65回全国植樹祭併催イベント緑百年物語フェスティバルの開催

- ・日時：平成26年6月1日（日）
- ・場所：長岡市千秋が原ふるさとの森
- ・テーマ：「緑百年物語を受け継ぐ未来世代の育成」
未来へつなぐ森の力～「緑の守り人」フェスタを開催
- ・参加者：1,150人
- ・イベント内容：天皇皇后両陛下お出迎えお見送り、緑の少年団活動発表会

② 地方植樹祭の開催支援

- ・第55回岩船林業振興祭（10月2日） ・第42回佐渡地方植樹祭（10月9日）
- ・第10回魚沼森の感謝祭（10月19日） ・第7回森と緑の感謝祭（10月18日）

(3) 地域の森づくりの推進

県内各地域の地域組織が主体となり其々の地域で活動する団体と連携し、県民運動の啓発につながる地域の森づくり事業（フラッグリレー本年度実施2地域）の実施支援。

	(単位：千円)	予算額(A)	決算額 (B)	増減(B-A)	備考
3 災害復興緑の支援とボランティア活動の推進		34,290	25,143	△9,147	
○各種団体からの受託事業による緑化活動支援		1,590	1,026	△564	
○寄付金によるにいがた森づくり事業		500	523	23	
○緑の募金による緑化助成事業（一般）		28,500	21,451	△7,049	
○緑の募金による企業の森づくり（特定）		2,000	1,407	△593	
○緑の募金による災害復興緑の支援（特定）		1,500	601	△899	
○緑の募金による特定助成事業推進費（特定）		200	135	△65	

(1) 緑化活動の推進

各種団体等の受託事業や緑の募金、寄付金等を原資とした助成事業により、ボランティア団体等の森林整備活動及び緑化活動を支援。また、企業等からの寄付金(使途限定緑の募金)を受け、企業等と地域との協働による「企業の森づくり」と激甚災害被災地の緑の復興を支援。

(2) 緑化助成事業の実施状況

事業名	事業内容	平成26年度実績	前年度実績	資料No.
ゴルファー緑化促進事業	(公社) ゴルフ緑化促進会交付金による助成事業	助成件数 1件	助成件数 3件	2-1
ボランティア保険料助成事業	緑化活動のボランティア保険料を助成	23件	17件	2-1
にいがた森づくり事業	啓発効果の高い森づくり事業	2件	2件	2-5
緑百年緑化助成事業小計		26件	22件	
「緑の募金」森づくり事業	学校林の整備や地域住民及び緑化団体等による森づくり活動を助成	96件	92件	2-2
「緑の募金」記念植樹事業	集会施設、公園等で地域住民が参加して行う記念植樹用苗木を助成	153件	140件	2-3
企業の森づくり事業	企業協賛募金による企業の森づくり及び企業協賛の森づくり事業	5件	6件	2-4
災害復興緑の支援事業	使途限定「災害復興緑の募金」を原資とした緑の復興支援活動を助成	2件	4件	2-5
地域の森づくり事業	地域組織主体に構成団体と連携し、県民運動の啓発につながる活動を助成	8件	8件	2-6
緑の募金緑化助成事業小計		264件	250件	
緑化助成事業計		290件	272件	

(単位:千円)	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
4 緑の募金の普及啓発と心豊かな子供たちの育成	20,300	18,384	△1,916	
○緑の募金の普及啓発と募金活動の推進	11,800	11,440	△360	
○緑の少年団等の育成支援	8,500	6,944	△1,556	

(1) 緑の募金活動の実施

ア 募金活動の成果

平成26年度緑の募金目標額：73,000千円(平成25年実績額：65,332千円)
実績額：63,596千円(目標達成率:87.1% 前年度比:97.3%)

イ 募金活動状況

春 4月1日～5月31日 県下一円

秋 9月1日～10月31日 企業協賛募金、緑化イベント等

① 春期「緑の募金」活動

春期募金は、家庭募金を柱として、学校募金、職場募金など多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等募金資材の活用、新聞、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し運動の周知に努めた。

② 秋期「緑の募金」活動

東日本大震災や県内で発生した震災・豪雨災害等の被災地の緑の復旧・復興支援の募金運動に加えて、企業・団体等に対する協力要請やイベント等での募金活動を重点に実施。

ウ 緑の募金状況

家庭募金を始め、企業募金も依然として減少傾向が続いている。

平成26年度緑の募金実績

(単位：千円)

年度	家庭募金	家庭募金 以外計	内 訳					募金総額
			学校	職場	企業	街頭	その他	
H25	45,911	19,421	3,396	5,108	8,881	315	1,719	65,332
H26	44,866	18,730	3,015	4,978	8,961	318	1,456	63,596
増減	△1,045	△691	△381	△130	80	3	△263	△1,736
前年度比%	97.7	96.4	88.8	97.5	100.9	100.9	84.7	97.3

(2) 緑の募金推進事業

緑の募金の大切さやその成果を明らかにするため、事業の実績、助成を受けた緑化団体、緑の少年団等の活動状況等をホームページや会報誌等により周知した。また、広く啓発用ポスターや標語を募集し、緑の募金活動に顕著な功績が認められた団体を表彰した。

ア ポスター原画・標語コンクール

国土緑化運動・育樹運動ポスター

(原画) 優秀賞 上越市立東本町小学校 4年 樋口ひなた 奨励賞 12作品

(標語) 優秀賞 佐渡市立真野小学校 4年 伊澤鈴 奨励賞 9作品

イ 緑化功労者

緑化功労者理事長表彰 山居山里山整備の会 (村上市)、金波会 (津南町)、
七ヶ字植林組合 (佐渡市)

緑の募金表彰 村上市立山辺里小学校、新穂緑の少年団

ウ 緑の少年団の育成及び緑の学校の支援等

緑の少年団の結成や活動等の支援及び子供たちを対象とした緑の学校の開催を支援。

① 緑の少年団の育成

緑を愛する心豊かな少年・少女を育てることを目的として結成された緑の少年団の活動を支援する。

事業名	予算額 (A)	決算額 (B)	残額 (A-B)	備 考
結成支援事業	250	0	△250	H 2 4 年度団員数：52 団体：2,664 名
活動支援事業	3,250	3,103	△147	H 2 5 年度団員数：53 団体：2,615 名
交流集会事業	4,200	3,268	△932	H 2 6 年度団員数：50 団体：2,348 名
合計	7,700	6,371	△1,329	

② 緑の学校支援

県と地域組織が連携して行う次代を担う子供たちを対象とした森林学習の機会の提供を目的に開催する「緑の学校」を支援。

申請実績：8校、参加人数270名（前年度実績：7校、参加人数161名）

(3) 東日本大震災復興事業への対応

国土緑化推進機構と都道府県緑化推進委員会とが連携し、平成23年4月から復興事業を実施。復興事業の財源は、交付金の2%相当分と国土緑化推進機構の震災復興事業用途限定募金。

平成26年度で終了。

本県では十日町市民協働の森づくり(十日町市)が1,110万円(平成24,25,26年度)の助成を受けた。